

# 1 指宿の未来を担う精鋭農業者の育成

## 指宿の未来を担う精鋭農業者の育成

### 成果の要約

- 1 農業次世代人材投資資金交付対象者及び交付終了者 111 戸(令和 3 年度末)のうち、令和 4 年度末までに 40 戸が認定農業者(人材投資資金交付期間終了後の次期 5 力年経営改善計画を策定)となった。
- 2 農業次世代人材投資資金交付対象者で簡易簿記記帳者を対象に複式簿記の推進を図り、7 戸が新たにパソコンを活用した複式簿記記帳に取り組み、経営内容の把握に向けた支援を行った。
- 3 農業次世代人材投資資金交付対象者で現在交付中の 21 名のうち、11 名の経営診断を実施し、5 名の中間評価者には経営改善指導を行った。
- 4 農業次世代人材投資資金交付対象者のうち、農産物販売額 500 万円/戸以上の農家が 4 戸増加した。

### 1 対象

- (1) 農業次世代人材投資資金交付対象者及び交付終了者 101 戸(令和 2 年度末 94 戸 + 令和 3 年度新規 7 戸)(交付期間中 21 戸, 交付期間終了 79 戸)

更に、令和 4 年度対象者の次世代交付者要支援検討会(4 月, 10 月), 新規就農者巡回(5 月), 就農状況調査(8 月), その他個別にも推進を実施した。結果、令和 4 年度末で新たに 7 戸が複式簿記に取り組んだ。

### 2 課題を取り上げた理由

- (1) 指宿市の新規就農者等は 8 割以上が野菜部門であり、夏場はオクラ、冬場はマメ類を組み合わせた経営が多い。
- (2) 条件不利な農地で開始する新規就農者が多い。
- (3) 農業次世代人材投資資金交付終了後、認定農業者へ移行する農業者が少ない。
- (4) 新規就農者の中でも規模拡大等を図り、経営発展を望む農業者も増加しつつある。



写真 1 複式簿記記帳の現地推進

### 3 活動の内容及び成果

- (1) 経営発展志向農家の経営確立支援  
ア 経営内容の把握に向けた支援  
令和 3 年度末、農業次世代人材投資資金交付期間中の農家 21 戸及び新規就農者から、地域の担い手となる農家を関係機関と選定し、簿記記帳の推進を行った。就農状況調査(2 月)時と現地巡回訪問(6 月)時に重ねて記帳推進し、経営管理の必要性を促した。特に、現地巡回訪問(6 月, 11 月)し、記帳推進を図った。

- イ 認定農業者に向けた経営支援  
令和 3 年度次世代交付者の中から、関係機関と協議し、認定農業者に誘導する農家選定を行った。終期を迎える次世代交付者のうち、リストアップした対象者の就農状況報告提出日に合わせて、認定農業者制度説明を個別に行い推進した。簿記記帳及び経営管理指導で、経営目標となる経営改善計画作成支援を行った結果、3 名が認定農業者に認定された。



写真2 経営改善計画の作成支援

(3) 農業次世代人材投資資金交付対象者の早期定着及び経営確立支援

農業次世代人材投資資金交付対象者の経営が早期に確立できるように、栽培技術及び経営等の集合研修や巡回指導、個別経営検討会を行った。集合研修は、病虫害・土壌肥料や経営・資金、農業機械等の基礎講座と、ニューファーマー講座（オクラ、えんどう類、そらまめの座学と現地検討）をそれぞれ年数回ずつ行い、指導農業士からは経験に基づいた助言指導をいただいた。



写真3 ニューファーマー講座（えんどう類）



写真4 新規就農基礎講座（農業機械）



写真5 個別巡回での営農技術支援

また、個別巡回指導は、指導農業士や女性農業経営士、4Hクラブ員、農業委員等と連携し、関係機関・団体が一体となり行った。

中間評価を迎える個別検討会で、経営状況の改善を要する農家を選定し、営農計画を基に個別面談を行い、現地指導も行った。

このような、栽培技術及び経営指導の継続的な支援が、農業次世代人材投資資金交付対象者の農産物販売額の向上につながっている。

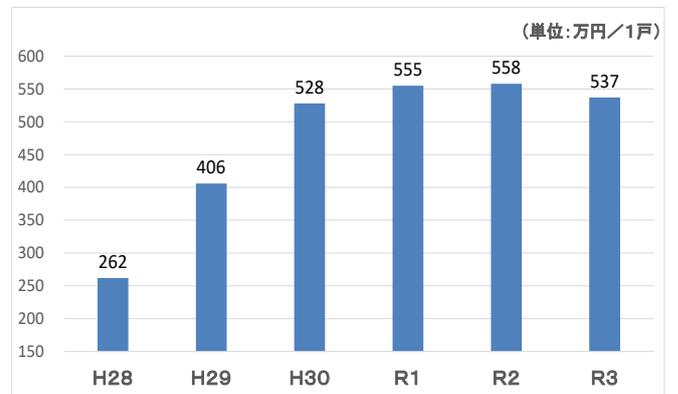


図1 農業次世代人材投資資金交付対象者の農産物の平均販売額

#### 4 今後の課題

- (1) 新規就農者を認定農業者へ誘導し、法人化等経営発展を目指す精鋭農業者を育成する
- (2) 農業次世代人材投資資金交付対象者の早期の就農定着を図るための、経営管理・栽培技術等の支援体制の維持強化を図る。

#### 5 担当した普及職員（○はチーフ）

○山下，上赤，上福元，外菌，水迫，濱崎，佐藤